

各教育委員会教育長 様
各 学 校 長 様
関 係 各 位

令和5年度

福島県郡山市立橋小学校
校 長 酒 井 健

郡山市立橋小学校研究公開のご案内（第二次）

研究主題

確かな学びを実現する橋の授業

～協同の学びの実現を通して～

「学習意欲」
「教科の見方・考え方」
「学び合い」
3つの視点から授業を創る
橋の挑戦



わたしたちが追究する「確かな学びを実現する橋の授業」とは、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす学習指導要領の理念を具現化することにほかなりません。わたしたちは、それぞれの研究教科において、子どもたちが本来備えている「学びたい」という意欲を引き出し、各教科の見方・考え方を駆使しながら、様々な人・もの・こととかわり合い、学び合う機会を通して、確かな学びを実現することをめざします。

子どもたちが意欲的に課題を追究したり、自分の考えを豊かに表現したり、友だちとのかかわりにおいてよさを認め合ったりしながらともに高め合う学びの姿を通して、確かな学びを実現する授業のあり方について一緒に考えていきませんか？多くの先生方にご参加いただき、貴重なご意見をいただきたいと思います。皆様からいただいたご意見やご指導をもとに、さらに研究を深め、「橋の挑戦」を推進して参ります。ぜひ、ご参加ください！

令和5年10月27日（金）

8:50 9:20 9:45 10:00 10:45 11:00 12:00 13:00 13:45 14:00 15:00 15:10 16:40

| | | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|------|----|-------|----|------|----|-----|
| 受付 | 全体会 | 移動 | 公開授業Ⅰ | 移動 | 分科会Ⅰ | 昼食 | 公開授業Ⅱ | 移動 | 分科会Ⅱ | 移動 | 講演会 |
|----|-----|----|-------|----|------|----|-------|----|------|----|-----|

※福島県の基本研修（初任者・新規採用者、5年経験者、中堅教諭等資質向上研修）に該当します。

福島県郡山市立橋小学校

〒963-8878 福島県郡山市堤下町4番4号

TEL : 024-932-5295 Fax : 024-932-5296 メールアドレス : tachibana-e@fcs.ed.jp

<全体会 (9:20~9:45)>

- 学校長あいさつ (橘小学校 校長 酒井 健)
- 研究の概要説明 (研修主任 滝田 弓子)

<公開授業 I (10:00~10:45)>

<分科会 I (11:00~12:00)>

| 学級 | 教科等 | 授業者 | 公開予定単元名 | 本時(本単元)で目指す児童像 | 授業・分科会種 |
|-----------|------|--------|--|--|-----------|
| 1-2 | 生活科 | 三浦 祐子 | たのしいあきいっばい | あさがおの成長を友だちと聴き合う活動を通して、あさがおの命について考えたり表現したりすることができる姿 | 1-2 |
| 2-1 | 音楽科 | 千葉 里美 | いろいろな楽器の音をさがそう | 友だちとの器楽活動を通して、楽器の音色や演奏の仕方に着目し、互いの音や伴奏を聴き合いながら演奏する姿 | 音楽室 (2-1) |
| 3-1 | 国語科 | 吉井 美香 | 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」 | 根拠と理由を明確にし、想像を広げて読み、自分の体験や学びをもとに聴き合うことを通して、友だちと自分の共通点や違いに気づき、読みを深めていこうとする姿 | 3-1 |
| 4-2 | 算数科 | 茂木 有希子 | 広さの表し方を考えよう 「面積のはかり方と表し方」 | 自ら課題意識をもち、既習事項をもとに友だちと話し合う中で、図形の構成要素に着目しながら、よりよい考えを求めて、友だちと一緒に追究に向かう姿 | 4-2 |
| 5-1 | 外国語科 | 渡部 裕子 | Unit5 Where is the post office? | 本当に伝えたい内容や表現方法を考える活動を通して、友だちと聴き合いながら、英語で表現することの楽しさを味わう姿 | 5-1 |
| 6-2 | 道徳科 | 滝田 弓子 | 気高い心 D よりよく生きる喜び | 友だちとの聴き合いを通して、道徳的価値を多面的・多角的に捉え、これまでの自分を見つめ直し、これからの自分の生き方について思いをもつ姿 | 6-2 |
| たんぼぼ (知的) | 自立活動 | 鳴原 由恵 | 自分の考えをつたえよう | 考えを表現し共有し合う活動を通して、よりよいコミュニケーションを意識して聴き合ったり、自他の考えのズレに気付くことで自己を肯定的に見つめようとする姿 | たんぼぼ |

<公開授業 II (13:00~13:45)>

<分科会 II (14:00~15:00)>

| 学級 | 教科等 | 授業者 | 公開予定単元名 | 本時(本単元)で目指す児童像 | 授業・分科会種 |
|------------|------|--------|--|---|-----------|
| 1-1 | 国語科 | 渡邊 志保 | すきなところをみつけよう 「たぬきの糸車」 | 言葉に着目して気付いたり考えたりしたことを友だちと聴き合う中で、想像を豊かに広げながら楽しく物語を読む姿 | 1-1 |
| 1-3 | 算数科 | 安藤 久美子 | ひきざん | 生活場面を想起させる問題提示を通して、子どもが意欲的に課題に取り組み、友だちの考えを聴き合ったり、自分の考えを相手に伝えたりしようとする姿 | 1-3 |
| 2-2 | 道徳科 | 千田 怜花 | 「よいこと」「よくないこと」迷ったら A 善悪の判断、自律、自由と責任 | 友だちと聴き合う活動を通して、道徳的価値について考えを深め、自身の経験を語る姿 | 2-2 |
| 3-2 | 算数科 | 吉川 綾音 | 数の表し方やしくみを調べよう 「小数」 | 既習事項をもとに、解決の見通しをもちながら友だちと話し合うことを通して、数の表し方や仕組みについて考えようとする姿 | 3-2 |
| 4-1 | 音楽科 | 宍戸 みゆき | せんりつのとくちょうを感じ取るう | 音楽を形づくっている要素とその働きに着目して楽曲を捉え、友だちと表現を工夫する活動を通して、自分なりの思いや意図をもったのびのび表現する姿 | 音楽室 (4-1) |
| 5-2 | 体育科 | 渡辺 大志 | E ボール運動 「フラッグフットボール」 | 動きや考えのよさの共有を中心とした学び合いを通して、チームの特徴に応じた作戦を考えゲームに生かそうとする姿 | 体育館 (5-2) |
| 6-1 | 社会科 | 小松 映美子 | 江戸幕府と政治の安定 | 社会的事象について見いだした課題を主体的に追究することを通して、多面的・多角的に考察し、自分の考えを深める姿 | 6-1 |
| あさがお (自・情) | 自立活動 | 佐藤 和歌子 | 会話を楽しもう | 友だちと協力して遂行するゲームを通して、自分の意図を伝えたり相手の意図を理解したりして適切に関わろうとする姿 | あさがお |

<分科会>

子どもたちが授業のどこでつまずき、どこで学びが成立したか。「子どもの学びの事実」をもとに、授業の難しさや子どもの学びのおもしろさを共有します。子どもたちの学びをもとに、授業を丁寧に振り返ることを通して、「授業者も参観者も共に学べる分科会」をめざしています。ぜひご参加ください。

<講演会 (15:10~16:40)>

演 題「探究と協同の学びのイノベーション~ポストコロナ時代の授業改革と学校づくり」
(講師:佐藤 学先生)

| 学級 | 教科等 | 授業者 | 指導助言者 |
|-------|------|--------|--|
| 1 - 1 | 国語科 | 渡邊 志保 | 郡山市教育委員会学校教育推進課指導主事 大竹 芙美 先生 |
| 1 - 2 | 生活科 | 三浦 祐子 | 郡山市総合教育支援センター指導主事 吉田 明史 先生 |
| 1 - 3 | 算数科 | 安藤 久美子 | 矢吹町立中畑小学校長 渡部 由美子 先生 |
| 2 - 1 | 音楽科 | 千葉 里美 | 星総合病院法人事業本部顧問 佐藤 正敏 先生 |
| 2 - 2 | 道徳科 | 千田 怜花 | 東京学芸大学先端教育人材育成機構教授 永田 繁雄 先生 |
| 3 - 1 | 国語科 | 吉井 美香 | 郡山市立芳賀小学校長 増子 春夫 先生 |
| 3 - 2 | 算数科 | 吉川 綾音 | 郡山市教育研修センター学校教育アドバイザー 川前 照幸 先生 |
| 4 - 1 | 音楽科 | 穴戸 みゆき | 郡山市教育委員会学校教育推進員 渡辺 雅人 先生 |
| 4 - 2 | 算数科 | 茂木 有希子 | 郡山市教育委員会学校教育推進課指導主事 穴澤 利典 先生 |
| 5 - 1 | 外国語科 | 渡部 裕子 | 前郡山市立郡山第一中学校長 堀田 隆 先生 |
| 5 - 2 | 体育科 | 渡辺 大志 | 郡山市教育委員会学校管理課指導主事 併任文化スポーツ部スポーツ振興課課長補佐 福本 政之 先生 |
| 6 - 1 | 社会科 | 小松 映美子 | いわき市立夏井小学校長 須田 英明 先生 |
| 6 - 2 | 道徳科 | 滝田 弓子 | 前須賀川市教育委員会指導主事 渡邊 眞二 先生 |
| たんぼぼ | 自立活動 | 鳴原 由恵 | 福島県教育庁県中教育事務所学校教育課指導主事 黒田 樹 先生 |
| あさがお | 自立活動 | 佐藤 和歌子 | 前郡山市立郡山第一中学校教諭 今泉 祥子 先生 |

今年度の公開も、「学びの共同体」の実践 佐藤学先生にご講演いただきます。

今求められる「対話的で深い学びの創造」。

現行の学習指導要領のキーワードは「主体的・対話的で深い学び」。
その先駆けともいえるべき取り組みを続けてきた「学びの共同体」の
理論的指導者である佐藤学先生にご講演いただきます。
日本各地・世界各国の小中学校を訪問し、
圧倒的な成果を上げてきた現代教育学界の第一人者の先生です。

東京大学名誉教授・北京師範大学客員教授

佐藤 学先生

佐藤学先生の主要な著書

『授業を変える・学校が変わる』小学館 2000年・『学力を問い直す—学びのカリキュラムへ』岩波書店 2001年・『習熟度別指導の何が問題か』岩波書店 2002年・『身体のダイアローグ—佐藤学対談集』太郎次郎社 2002年・『教師たちの挑戦—授業を創る・学びが変わる』小学館 2003年・『子どもたちの想像力を育む—アート教育の思想と実践』（今井康雄と共編）東京大学出版会 2003年・『学校の挑戦—学びの共同体の創造』小学館 2005年・『教師花伝書—専門家として成長するために』小学館 2008年・『教育の方法』（放送大学叢書）左右社 2010年・『学校見聞録』小学館 2012年・『学校を改革する—学びの共同体の構想と実践』岩波書店 2012年・『専門家として教師を育てる—教師教育改革のグランドデザイン』（岩波書店）2015年・『学び合う教室・育ち合う学校』小学館 2015年・『学びの共同体の挑戦—改革の現在』小学館 2018年・『第4次産業革命と教育の未来—ポストコロナ時代のICT教育』岩波書店 2021年 他、多数

研究アドバイザー

福島大学 人間発達文化学類 人間発達専攻 准教授

坂本 篤史 先生



坂本先生には、橘小学校の研究主題に関わり、子どもの学びの姿の見取りや事後研究会のあり方などについてご指導いただいております。今回の講演会にも、フロアからご参加いただきます。

参加費

2000円（学生は1000円）【研究集録代を含みます】

- ※ 研究公開当日、受付にてお支払いください。
- ※ 昼食の斡旋はしませんが、昼食会場を準備しております。

会場案内

- ※ 駐車場は、本校校庭をご利用ください。東側正門よりお入りください。
学校周辺の道路は、一方通行もございます。標識等にご注意ください。
- ※ バス・タクシー・徒歩で来校される場合は、校庭西側門（歩行者用信号の所）または東側正門よりお入りください。
- ※ 受付は、体育館です。

【交通案内】

- JR 東日本郡山駅から約 1.8km
- 徒歩 20分
- バス 駅前 11 番のりば
「池ノ台経由」又「池ノ台回り」
「堂前」で下車 徒歩3分
- お車の場合（福島方面から）
国道4号線（旧）から文化通りに入り
郡山市民文化センター東側を左折、
ヨークベニマル東側を左折
- お車の場合（東京方面から）
国道4号線（旧）から陸橋手前を左折
そのまま直進



参加申し込み・お問い合わせ

■申し込み方法

右のフォームからお申し込み下さい。

参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/q4DZGxhAXb5Mkjgs8>



- ◇ 当日の朝、発熱及び風邪等の症状がある場合は、参加をお控えください。

■申し込み期限

令和5年10月20日（金）

※期限後も受け付けてはおりますが、準備の都合上早めのお申し込みをお願いいたします。

<お問い合わせ>

郡山市立橘小学校 〒963-8878 福島県郡山市堤下町4番4号
TEL：024-932-5295 FAX：024-932-5296（担当：研修主任 滝田 弓子）
メールアドレス：tachibana-e@fcs.ed.jp

